

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	舞台実習Ⅲ	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	俳優コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	105時間
単位数	3単位					授業形態	実習
教科書/教材	その都度資料を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	霧田俊哉、今村由香、中野志朗			実務経験の有無・職種	有・演出、舞台監督		
学習目的							
この科目を受講する学生は、演劇・映画など様々な集団創造の現場で、自身の能力と個性を自発的に発揮できる力を身に着けることを目的とする。即ち集団創造においては、他者との交流が不可欠であることを理解し、他者と自分自身を認め、等しく重要な存在であることを体感できるようになることを目的とするものである。かつ観客に表現を伝えるために必要な客観的な意識及び技術の習得を目的とする。							
到達目標							
学生は、舞台作品創造において自己の理解や技術をより高める為に、稽古を積み重ねる中で他者や外界から新しい発見をし自らのものとする柔軟な姿勢を身に着けることを目標とする。戯曲を読み込む力をつけ、演出の意図を正しく理解したうえで、自らの表現を構築することができるようになることを目指す。相手役に伝える、相手役の意図を受け取る経験を重ね、そのなかから演技を構築できるようになることを目指す。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、学期末の発表会を主として、その他小規模のグループ発表を行い、表現作品を仕上げることを実践する。発表後には必ず反省を行い、自己の表現、他者の表現についての検証を行う。						
注意点	この授業では、戯曲解釈や役作りのため資料調査など、予習が欠かせない。 学年末に行われる卒業公演以外は、週2回の授業時間内で稽古するため、集中して取り組むことが大切である。また、何人かのグループで稽古を行うことになるので、遅刻欠席は稽古に支障をきたすことになる。体調管理には十分な注意を払うこと。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題・小発表会	30%	中間発表などの舞台成果、授業内で行われる実技発表の内容について評価する				
	発表会	50%	授業内で行われる課題発表の成果について評価する。				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度などで評価する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	シアターゲーム			クラス内の信頼感を高める			
2回	一人芝居を作る			自分が訴えたいことを他者にわかるように工夫する			
3回	一人芝居の発表・反省			自分の表現、・他者の表現への検証を行う			
4回	学期末（中間）発表作品学習			作品の読みあわせ、作品解釈等について学習			
5回	読みあわせ			全体で読みあわせを行う			
6回	読みあわせ			全体で読みあわせを行う、自分のチームでの読みあわせ			
7回	読みあわせ			自分のチームでの読みあわせ			
8回	立稽古			荒立稽古を行う			
9回	立稽古			場面ごとに立稽古を行う			
10回	立稽古			場面ごとに立稽古を行う			
11回	立稽古			場面ごとに立稽古を行う			
12回	立稽古			すべての場面の稽古を行う			
13回	立稽古			すべての場面の稽古を行う			
14回	舞台稽古			戯曲を一つの作品としての発表するために必要な要素を総合的に養う			
15回	発表会と反省会			作品発表。全体のまとめ			